

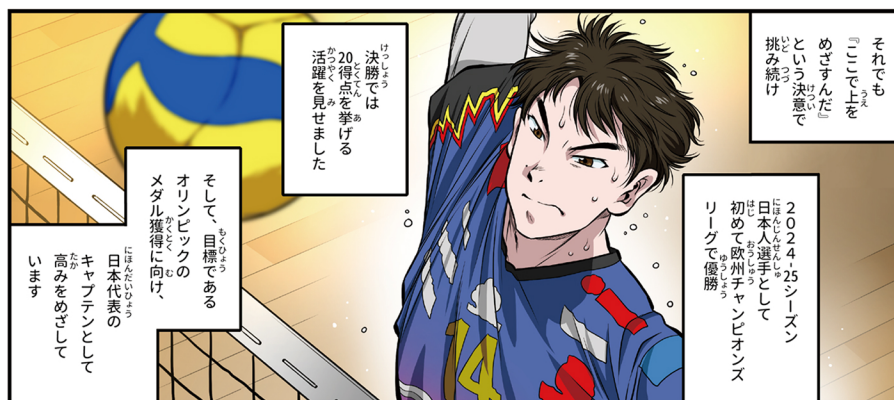


成長を楽しみ高みをめざす

バレーボール

石川祐希選手

『楽しい=楽』ではない



「フェアプレーニュース」のダウンロードはこちらから

写真：月刊バレーボール

2025年9月16日発行

トップアスリートに聞く！
チャレンジしたこと
で人生が変わった

『行ってみたい』という
好奇心で一步を踏み出す

中央大学1年生のとき世界最高峰のリーグ・セリエA（イタリア）のパツラヴォーロ・モデナからオファーをもらった石川選手。『純粹に『行ってみたい』という好奇心で決断しました。もし『自分は本当にできるのか？』『イタリア語がわからないのも不安』と深く考えすぎていたら決断できなかったかもしれません』

当初は結果を出せずに悩んだこともありましたが、『ここで上をめざす』という決意で挑み続け、2024-25シーズン、日本人選手として初めて欧州チャンピオンズリーグのタイトルを獲得。決勝ではスターティングメンバーとして出場し、20得点を挙げ活躍を見せました。



日本代表のキャプテンとしてチームをまとめる役割も担う石川祐希選手

そうして己の心技体を磨き、現在、日本代表のキャプテンも務めている石川選手から「僕は、きっかけをもらったときに一步を踏み出したことで人生が変わりました。その経験から、チャレンジすることの大事さを伝えたいです」と、小中学生の皆さんに向けてメッセージをもらいました。

ときには自分の考えを言う
正しく競技を行うのがフェアプレー！

バレーボールでは、ボールがコート内に入ったかどうか、相手のブロックがワンタッチ（手がボールに触れること）したかどうかなど判定が微妙なときがあります。石川選手は「正しく競技を行うことがフェアプレーだと思います。例えば、審判が間違っただと判定していると思ったら、キャプテンとして僕は『今の判定ではないか』と主張します。逆に、自分がブロックに跳んでワンタッチしたら、自分から申告するということも重要だと思います」と言います。

フェアプレー
7カ条

- ①約束を守ろう
- ②感謝しよう
- ③全力をつくそう
- ④挑戦しよう
- ⑤仲間を信じよう
- ⑥思いやりを持とう
- ⑦楽しもう

オリンピックでの
メダル獲得へ向けて

石川選手が目標としているのはロサンゼルス2028オリンピックでメダルを取ること。

「そのためには、オリンピック前の国際大会で表彰台に立てるチームにならなければなりません。メダルを取るには、そうしたプロセスや経験が必要なので、どの大会でも表彰台に上ることを目標にしています」



フェアプレー
キャンペーン
TOPページ

フェアプレーニュース
フェアプレー宣言

で見たいニュースを見つけてね
「宣言する」をクリックしてね

